

授業構想シート (年)【単元名】「

」(時間/全 時間)

■本単元のねらい

<本時のねらい> ※ めざす生徒の姿

○

【まとめ】 ※ <ねらい>を生徒の言葉で

【めあて】 ※ まとめとの整合性 生徒の言葉で

【めあて】を生み出す働きかけ

【追究する活動や働きかけ】主体的・対話的な学び

【手だて】

【支援を要する生徒への手だて】

【手だて】

【振り返り】

板書計画

授業構想シート（中2年）【単元名】「連立方程式」（4時間／全14時間）

■本単元のねらい

学習指導要領解説や北九州スタンダードカリキュラム等を参考に設定。

- ・ 数量の関係を2つの文字を用いて等式に表し、これを目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立方程式の解法について理解と習熟を図り、連立方程式を用いて問題解決する能力を養う。
- ・ 連立方程式の解法の要点である「1つの文字を消去して、一元一次方程式を導く」ことを繰り返し行わせるとともに、生徒の興味・関心が高まるような身近な課題を取り上げるなどして、連立方程式の有用性を実感できるようにする。

＜本時のねらい＞ ※ めざす生徒の姿

評価規準を基に設定。

○ 加減法で連立方程式を解くためには、消去する文字の係数の絶対値をそろえる必要があることに気付くことができるようになる。

＜ねらい＞と一致した「まとめ」になっているか。

【まとめ】 ※ ＜ねらい＞を生徒の言葉で

係数のそろっていない連立方程式は、等式の性質を用いて方程式の両辺を何倍かして、一方の文字の係数をそろえれば、加減法を用いて解くことができる。



【めあて】 ※ まとめとの整合性 生徒の言葉で

「まとめ」に向かう「めあて」になっているか。

等式の性質を利用して係数がそろっていない連立方程式を解く方法を説明しよう。



【めあて】を生み出す働きかけ



【追究する活動や働きかけ】主体的・対話的な学び

問題意識をもたせる活動になっているか。

【手だて】

【支援を要する生徒への手だて】

【手だて】

【振り返り】

板書計画